

2012（平成24）年度
学校法人松山東雲学園 事業報告書

[2012（平成24）年4月1日から2013（平成25）年3月31日まで]

目次

1. 法人の概要

（1）建学の精神	1
（2）学校法人の沿革	1
（3）設置する学校・学部・学科等	2
（4）学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況	3
（5）役員・評議員	5
（6）教職員の人数	5

2. 事業の概要

（1）主な事業	7
---------	---

3. 財務の概要

（1）2012（平成24）年度決算概要	8
（2）経年比較資料	13

4. 監事監査報告書

15

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

松山東雲学園の建学の精神は、「信仰・希望・愛」であらわされるキリスト教精神です。本学園はこの精神にもとづき、神を畏れ、神による希望に生き、神と隣人を愛する、自立した女性を育成する教育を目指します。

(2) 学校法人の沿革

1886 (明治 19) 年	松山第一基督教会の二宮邦次郎牧師により四国最初の女学校として松山女学校を設立 (9月16日)。
1906 (明治 39) 年	米国伝道局の管理に移されミッション・スクールとなる。
1920 (大正 9) 年	校舎を松山市大街道三丁目二番地二四 (旧赤十字病院跡、現高等学校) に移転。
1932 (昭和 7) 年	高等女学校令により校名を松山東雲高等女学校と改称。
1945 (昭和 20) 年	松山空襲、校舎焼失。キリスト教精神に基づく教育を明確にして再出発。
1947 (昭和 22) 年	松山東雲中学校を併設。
1948 (昭和 23) 年	松山東雲高等学校と改称。
1952 (昭和 27) 年	松山東雲カレッジを設立。
1957 (昭和 32) 年	松山東雲栄養学院を設立。
1964 (昭和 39) 年	カレッジ、栄養学院を発展的に解消し食物科の短期大学として発足。二宮源兵、初代松山東雲短期大学学長に就任。松山東雲短期大学の開学式を行う。
1966 (昭和 41) 年	松山東雲短期大学に家政科、保育科、英文科の3学科を新設。
1968 (昭和 43) 年	松山東雲短期大学に附属幼稚園を設立。
1976 (昭和 51) 年	松山東雲学園創立 90 周年記念式。 松山東雲高等学校創立 90 周年。 愛真館 (チャペル・図書館) 献堂式を行う。
1984 (昭和 59) 年	松山東雲短期大学に秘書科を新設。
1986 (昭和 61) 年	松山東雲学園創立 100 周年記念式。 松山東雲高等学校創立 100 周年。 100 周年記念館の献堂式を行う。
1987 (昭和 62) 年	食物科と家政科を統合・改組して生活科学科を新設。
1988 (昭和 63) 年	米国ボストンの伝統校ラセル大学と姉妹校提携を行い、短期体験留学による相互交流を開始。
1989 (平成元) 年	最新情報処理システムの導入をはじめとした教育研究設備を備え、シンボルタワーを配した校舎 D 館落成。
1991 (平成 3) 年	生涯学習時代に対応して、松山東雲学園オープンカレッジを開設。

- 1992（平成 4）年 松山東雲女子大学人文学部（人間文化学科・言語文化学科）を開学。
岡本道雄、初代松山東雲女子大学学長に就任。
- 1998（平成 10）年 松山東雲女子大学人文学部言語文化学科を国際文化学科に名称変更。
- 1999（平成 11）年 松山東雲女子大学人文学部に人間心理学科を新設。
- 1999（平成 11）年 松山東雲短期大学生活科学科生活環境専攻を生活デザイン専攻に名称変更。
- 1999（平成 11）年 松山東雲短期大学生活科学科生活文化専攻を生活文化学科へ学科昇格。
- 1999（平成 11）年 松山東雲短期大学英文科を募集停止。
- 2001（平成 13）年 オープンカレッジを発展的に解消し、松山東雲エクステンションセンターを開設。
- 2002（平成 14）年 松山東雲短期大学に専攻科福祉専攻を新設。
- 2004（平成 16）年 学生のキャリア形成支援の拠点としてキャリアサポートセンターを開設。
- 2007（平成 19）年 松山東雲女子大学人文学部を人文科学部とし、心理子ども学科・国際文化学科を新設。
- 2008（平成 20）年 松山東雲短期大学生活文化学科を「介護福祉士」養成に特化し、生活科学科介護福祉専攻として改編。
- 2009（平成 21）年 松山東雲短期大学専攻科福祉専攻を廃止。

（3）設置する学校・学部・学科等

- ① 松山東雲女子大学 [開学年月：1992（平成 4）年 4 月]
人文科学部 心理子ども学科 [心理専攻、子ども福祉専攻] 国際文化学科
人文学部 人間文化学科 国際文化学科 人間心理学科
- ② 松山東雲短期大学 [開学年月：1964（昭和 39）年 4 月]
保育科 秘書科 生活科学科 [食物栄養専攻、生活デザイン専攻、介護福祉専攻]
- ③ 松山東雲高等学校 [開校年月：1948（昭和 23）年 4 月]
全日課程 普通科
- ④ 松山東雲中学校 [開校年月：1947（昭和 22）年 4 月]
- ⑤ 松山東雲短期大学附属幼稚園 [開園年月：1968（昭和 43）年 4 月]

(4) 学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況 [2012(平成24)年5月1日現在]

①松山東雲女子大学 人文科学部 (単位:人)

学年	心理子ども学科				計	
	子ども専攻 [編入学定員:5]		心理福祉専攻 [編入学定員:5]			
	定員	現員	定員	現員	定員	現員
1年	50	61	60	27	110	88
2年	50	72	60	36	110	108
3年	-	-	-	-	-	-
4年	-	-	-	-	-	-
計	100	133	120	63	220	196

松山東雲女子大学 人文科学部 (単位:人)

学年	心理子ども学科				国際文化学科 [編入学定員:5]		計	
	心理専攻 [編入学定員:5]		子ども福祉専攻 [編入学定員:5]					
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
1年	-	-	-	-	-	-	-	-
2年	-	-	-	-	-	-	-	-
3年	55	37	55	50	65	34	175	121
4年	55	27	55	60	65	36	175	123
計	110	64	110	110	130	70	350	244

松山東雲女子大学 人文学部 人間文化学科

学年	定員	現員
4年	-	1

松山東雲女子大学 総計

定員	570	現員	441
----	-----	----	-----

②松山東雲短期大学 (単位:人)

学年	保育科		秘書科		生活科学科				計	
					食物栄養専攻		介護福祉専攻			
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
1年	100	110	70	79	80	70	40	29	290	288
2年	100	117	70	72	80	81	40	12	290	282
計	200	227	140	151	160	151	80	41	580	570

③松山東雲高等学校 (単位:人)

学年	普通科	
	募集人員	現員
1年	90	101
2年	90	78
3年	90	72
計	270	251

④松山東雲中学校 (単位:人)

学年	募集人員	現員
1年	50	28
2年	50	24
3年	50	31
計	150	83

⑤松山東雲短期大学附属幼稚園 (単位:人)

学年	学級数	現員
満3歳児	1	2
3歳児	2	51
4歳児	2	60
5歳児	2	55
収容定員	190	168
現員計		

松山東雲学園 総計

定員	1,760	現員	1,513
----	-------	----	-------

(5) 役員・評議員[2012(平成24)年5月29日現在]

①役員

・理事【定数9人以上11人以内 現員9人】

山崎 文雄 (理事長)

棟方 信彦 大石 尊 山内 建 吉村真理子
阿部 正幸 上林順一郎 平尾 由紀 塩崎千枝子

・監事【定数2人 現員2人】

永井 鞆江 烏谷 紀興

②評議員【定数20人以上24人以内 現員23人】

山崎 文雄 棟方 信彦 大石 尊 曲田志保子 森 日出樹
亀岡 篤 中島 昭 中村 治 篠崎 英代 伊藤 浩美
中尾 祝子 一色 保子 松本 由美 高橋 恒美 濱西 豊弘
乃万 恵里 上林順一郎 中山 慶治 山内 建 吉村真理子
平尾 由紀 阿部 正幸 塩崎千枝子

(6) 教職員の人数[2012(平成24)年5月1日現在]

① 専任教員

【松山東雲女子大学 人文科学部】

(単位:人)

	学長	教授	准教授	講師	計
学長	1	-	-	-	1
心理子ども学科	-	8	4	7	19
国際文化学科	-	3	1	1	5
合計	1	11	5	8	25

【松山東雲短期大学】

(単位:人)

	教授	准教授	講師	計	
保育科	4	1	5	10	
秘書科	7	0	0	7	
生活科学科	食物栄養専攻	3	2	2	7
	介護福祉専攻	3	1	2	6
合計	17	4	9	30	

【松山東雲高等学校・松山東雲中学校】

(単位:人)

校長	副校長	教頭	教諭	計
1	1	1	10	13

【松山東雲短期大学附属幼稚園】

(単位:人)

園長	副園長	教諭	計
(兼務 1)	(兼務 1)	10	10

②専任職員

(単位:人)

所 属	専任職員・嘱託職員 (助手含む)
松山東雲女子大学・短期大学	42
松山東雲高等学校・中学校	3
松山東雲短期大学附属幼稚園	1
合 計	46

2. 事業の概要

(1) 主な事業

- ①学園資金の施設拡充引当資産への繰入【学園】
 - ・金 額：300,000 千円
- ②建物・備品火災保険料【学園】
 - ・金 額：5,948 千円（各部門に按分）
- ③本館 3-1 情報教育システムの更新【大短】
 - ・金 額：6,815 千円
- ④図書館情報総合管理システム「情報館」の更新【大短】
 - ・金 額：1,831 千円
- ⑤D館情報教室教育システムの更新【大短】
 - ・金 額：1,328 千円
- ⑥全国大会引率旅費【中高】
 - ・金 額：1,463 千円 [ハンドボール・アーチェリー・サッカー・バレーボール]
- ⑦園舎鉄柱塗装及び屋根雨漏り修繕【幼稚園】
 - ・金 額：599 千円
- ⑧備品整備費【幼稚園】
 - ・金 額：508 千円 [パソコン3台購入、業務用冷凍冷蔵庫（故障時の対応）]

3. 財務の概要

(1) 2012(平成24)年度決算概要

法人名：学校法人松山東雲学園

資金収支計算書

平成 24(2012)年 4月 1日から

平成 25(2013)年 3月 31日まで

〈総括表〉

(単位 円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,058,891,000	1,071,290,563	△ 12,399,563
手数料収入	15,475,000	17,073,980	△ 1,598,980
寄付金収入	3,901,000	4,495,000	△ 594,000
補助金収入	328,842,000	374,591,302	△ 45,749,302
国庫補助金収入	201,446,000	219,920,000	△ 18,474,000
地方公共団体補助金収入	127,396,000	154,671,302	△ 27,275,302
資産運用収入	37,340,000	78,353,689	△ 41,013,689
資産売却収入	0	0	0
事業収入	13,722,000	20,901,060	△ 7,179,060
雑収入	21,197,000	21,783,179	△ 586,179
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	232,029,000	233,955,500	△ 1,926,500
その他の収入	181,534,000	185,792,927	△ 4,258,927
資金収入調整勘定	△ 272,723,000	△ 287,137,946	14,414,946
前年度繰越支払資金	542,566,000	542,566,259	△ 259
収入の部合計	2,162,774,000	2,263,665,513	△ 100,891,513
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	812,141,000	812,256,198	△ 115,198
教育研究経費支出	321,173,000	308,347,710	12,825,290
管理経費支出	91,496,000	90,270,567	1,225,433
借入金等利息支出	11,847,000	11,847,780	△ 780
借入金等返済支出	51,320,000	51,320,000	0
施設関係支出	0	0	0
設備関係支出	13,716,000	14,177,664	△ 461,664
資産運用支出	300,000,000	300,000,000	0
その他の支出	11,920,000	14,575,863	△ 2,655,863
〔予備費〕	0		0
資金支出調整勘定	△ 10,844,000	△ 10,448,460	△ 395,540
次年度繰越支払資金	560,005,000	671,318,191	△ 111,313,191
支出の部合計	2,162,774,000	2,263,665,513	△ 100,891,513

【資金収支決算の概要】

1. 本年度決算と予算差異の主なもの及び要因は以下のとおりです。

- (1) 国庫補助金収入：経常費補助金の学生経費に対する補助及び特別補助の増加、大学改革推進等補助金(GP)の増加《予算差異：約1850万円》
- (2) 地方公共団体補助金収入：高校、中学、幼稚園の運営費補助金が生徒数の増加及び単価の上昇による増加《予算差異：約2730万円》
- (3) 資産運用収入：為替レート上昇による外国債利息の増加、MMFの利息の増加《予算差異：約4100万円》
- (4) 事業収入：受託研究事業による増加。《予算差異：約720万円》
- (5) 資金収入調整勘定：期末未収となる補助金、受託事業、学納金等の増加、運営費補助金(高校3回目交付額)の減少《予算差異：約1440万円》
- (6) 教研経費支出：印刷物等の減少、工事・修繕の減少、火災保険料の減少、海外留学等の旅費減少、実習謝礼等報酬の減少《予算差異：約1280万円》

消費収支計算書

平成24(2012)年 4月 1日から
平成25(2013)年 3月 31日まで

<総括表>

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	1,058,891,000	1,071,290,563	△ 12,399,563
手 数 料	15,475,000	17,073,980	△ 1,598,980
寄 付 金	3,901,000	6,776,947	△ 2,875,947
補 助 金	328,842,000	374,591,302	△ 45,749,302
国 庫 補 助 金	201,446,000	219,920,000	△ 18,474,000
地 方 公 共 団 体 補 助 金	127,396,000	154,671,302	△ 27,275,302
資 産 運 用 収 入	37,340,000	78,353,689	△ 41,013,689
資 産 売 却 差 額	0	0	0
事 業 収 入	13,722,000	20,901,060	△ 7,179,060
雑 収 入	21,197,000	21,395,600	△ 198,600
帰 属 収 入 合 計	1,479,368,000	1,590,383,141	△ 111,015,141
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 65,036,000	△ 52,761,080	△ 12,274,920
消 費 収 入 の 部 合 計	1,414,332,000	1,537,622,061	△ 123,290,061
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	798,684,000	802,510,279	△ 3,826,279
教 育 研 究 経 費	443,619,000	427,303,441	16,315,559
管 理 経 費	94,638,000	92,359,150	2,278,850
借 入 金 等 利 息	11,847,000	11,847,780	△ 780
資 産 処 分 差 額	0	16,400	△ 16,400
[予 備 費]	0		0
消 費 支 出 の 部 合 計	1,348,788,000	1,334,037,050	14,750,950
当 年 度 消 費 収 入 超 過 額	65,544,000	203,585,011	
当 年 度 消 費 支 出 超 過 額			
前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	3,938,990,523	3,938,990,523	
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	3,873,446,523	3,735,405,512	
帰 属 収 支 差 額	130,580,000	256,346,091	△ 125,766,091

【消費収支決算の概要(資金収支連動科目を除く)】

本年度は、帰属収支差額が約2億5000万円のプラスとなり黒字決算となっています。今後、予想される施設計画の実施に伴い収支状況は厳しくなることが想定されますが、健全な財務状況を目標に学生・生徒数の確保のための教育活動等に取り組んでまいります。

財 産 目 録

平成25(2013)年3月31日現在

I 資産総額		6,876,241,166 円
内 基本財産		4,722,583,085 円
運用財産		2,125,169,782 円
収益事業用財産		28,488,299 円
II 負債総額		1,577,691,097 円
III 正味財産		5,298,550,069 円

科 目	数 量	金 額
一 資産額		
(一) 基本財産		
1 土地		
桑原校地	33,058.00 m ²	436,353,576 円
大街道校地	27,776.77 m ²	219,331,349 円
計	60,834.77 m ²	655,684,925 円
2 建物	41,242.49 m ²	3,340,401,046 円
3 構築物	44 件	77,811,103 円
4 教具・校具・備品	28,444 点	65,280,996 円
5 図書	213,047 冊	583,184,715 円
6 車輛	4 台	220,300 円
基本財産 合計		4,722,583,085 円
(二) 運用財産		
1 預金、現金	28 件	671,318,191 円
2 積立金		
第3号基本金引当資産	3 件	287,340,885 円
施設拡充引当資産	20 件	929,131,492 円
計	23 件	1,216,472,377 円
3 有価証券	1 件	7,712,842 円
4 電話加入権	23 件	1,690,904 円
5 施設利用権	2 件	18,670,980 円
6 収益事業元入金	1 件	63,470,000 円
7 差入保証金	4 件	3,239,000 円
8 長期貸付金	3 件	90,031,469 円
9 未収入金	18 件	52,351,946 円
10 仮払金	3 件	212,073 円
運用財産 合計		2,125,169,782 円
合計((一)+(二))		6,847,752,867 円
(三) 収益事業用財産		
1 建物		15,058,959 円
2 構築物		113,440 円
3 預け金		13,315,900 円
収益事業用財産 合計		28,488,299 円
合計((一)+(二)+(三))		6,876,241,166 円

科 目	数 量	金 額
二 負債額		
1 固定負債		
(1) 長期借入金		
日本私立学校振興・共済事業団	3 件	438,360,000 円
(2) 退職給与引当金	97 件	801,858,727 円
2 流動負債		
(1) 短期借入金		
日本私立学校振興・共済事業団	1 件	51,320,000 円
(2) 前受金	26 件	233,955,500 円
(3) 預り金	14 件	40,372,710 円
(4) 未払金	2 件	10,448,460 円
(5) 仮受金	4 件	1,375,700 円
合 計		1,577,691,097 円
正味財産(資産総額-負債総額)		5,298,550,069 円

貸借対照表

平成 25(2013)年 3月 31日

〈総括表〉

(単位 円)

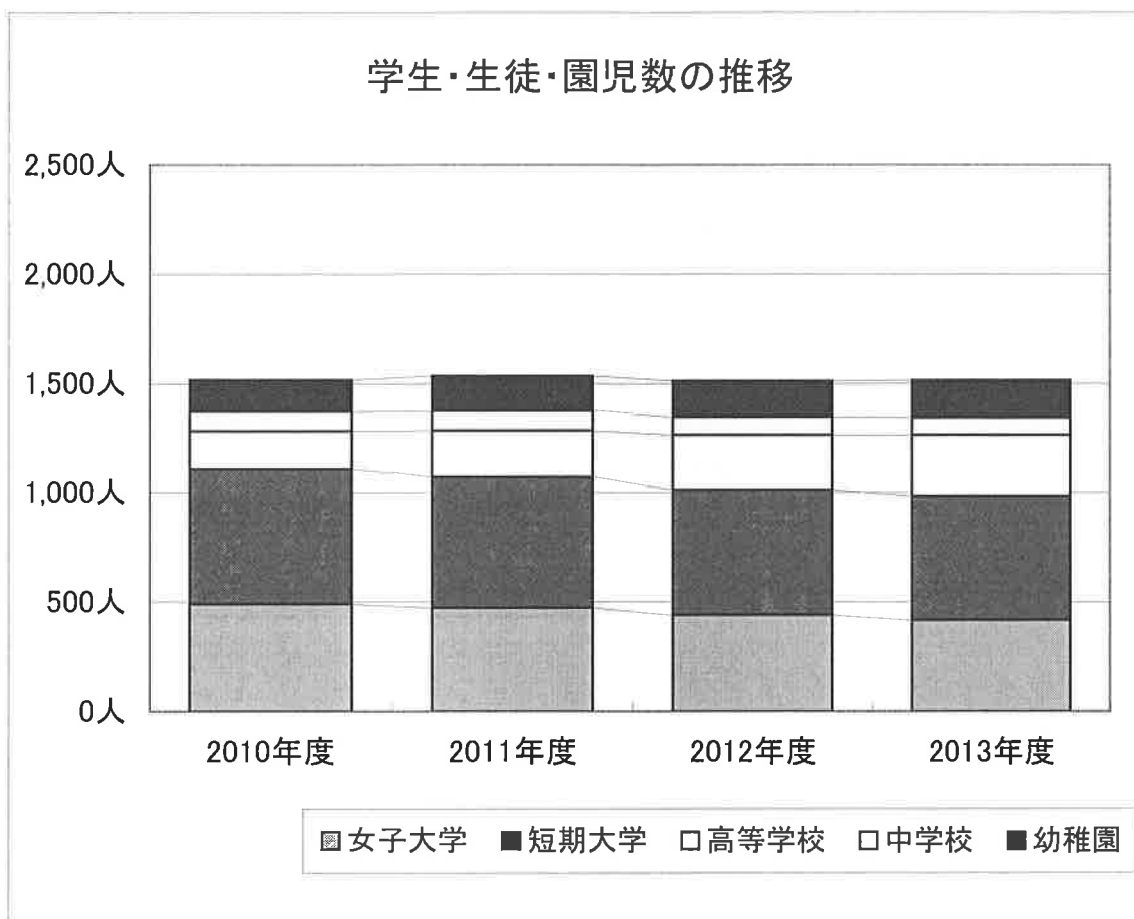
資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	6,123,870,657	5,935,169,916	188,700,741
有 形 固 定 資 産	4,722,583,085	4,827,184,188	△ 104,601,103
土 地	655,684,925	655,684,925	0
建 物	3,340,401,046	3,435,449,688	△ 95,048,642
その他の有形固定資産	726,497,114	736,049,575	△ 9,552,461
そ の 他 の 固 定 資 産	1,401,287,572	1,107,985,728	293,301,844
流 動 資 産	723,882,210	718,502,374	5,379,836
現 金 預 金	671,318,191	542,566,259	128,751,932
その他の流動資産	52,564,019	175,936,115	△ 123,372,096
資 産 の 部 合 計	6,847,752,867	6,653,672,290	194,080,577
負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	1,240,218,727	1,300,897,067	△ 60,678,340
長 期 借 入 金	438,360,000	489,680,000	△ 51,320,000
その他の固定負債	801,858,727	811,217,067	△ 9,358,340
流 動 負 債	337,472,370	339,059,544	△ 1,587,174
短 期 借 入 金	51,320,000	51,320,000	0
その他の流動負債	286,152,370	287,739,544	△ 1,587,174
負 債 の 部 合 計	1,577,691,097	1,639,956,611	△ 62,265,514
基本金の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第 1 号 基 本 金	8,518,126,397	8,465,365,317	52,761,080
第 3 号 基 本 金	287,340,885	287,340,885	0
第 4 号 基 本 金	200,000,000	200,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	9,005,467,282	8,952,706,202	52,761,080
消費収支差額の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	3,735,405,512	3,938,990,523	△ 203,585,011
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 3,735,405,512	△ 3,938,990,523	203,585,011
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	6,847,752,867	6,653,672,290	194,080,577

【貸借対照表の概要】

本年度は、近い将来予想される施設計画の実施に向けて、施設拡充引当資産に繰入を行ったことにより、その他の固定資産が約3億円増加し、施設関係の借入金返済に伴い基本金が約5千2百万円増加しています。また、将来的に既存の施設等の維持管理に必要な資金を確保するために中長期資金計画の検討を深めてまいります。

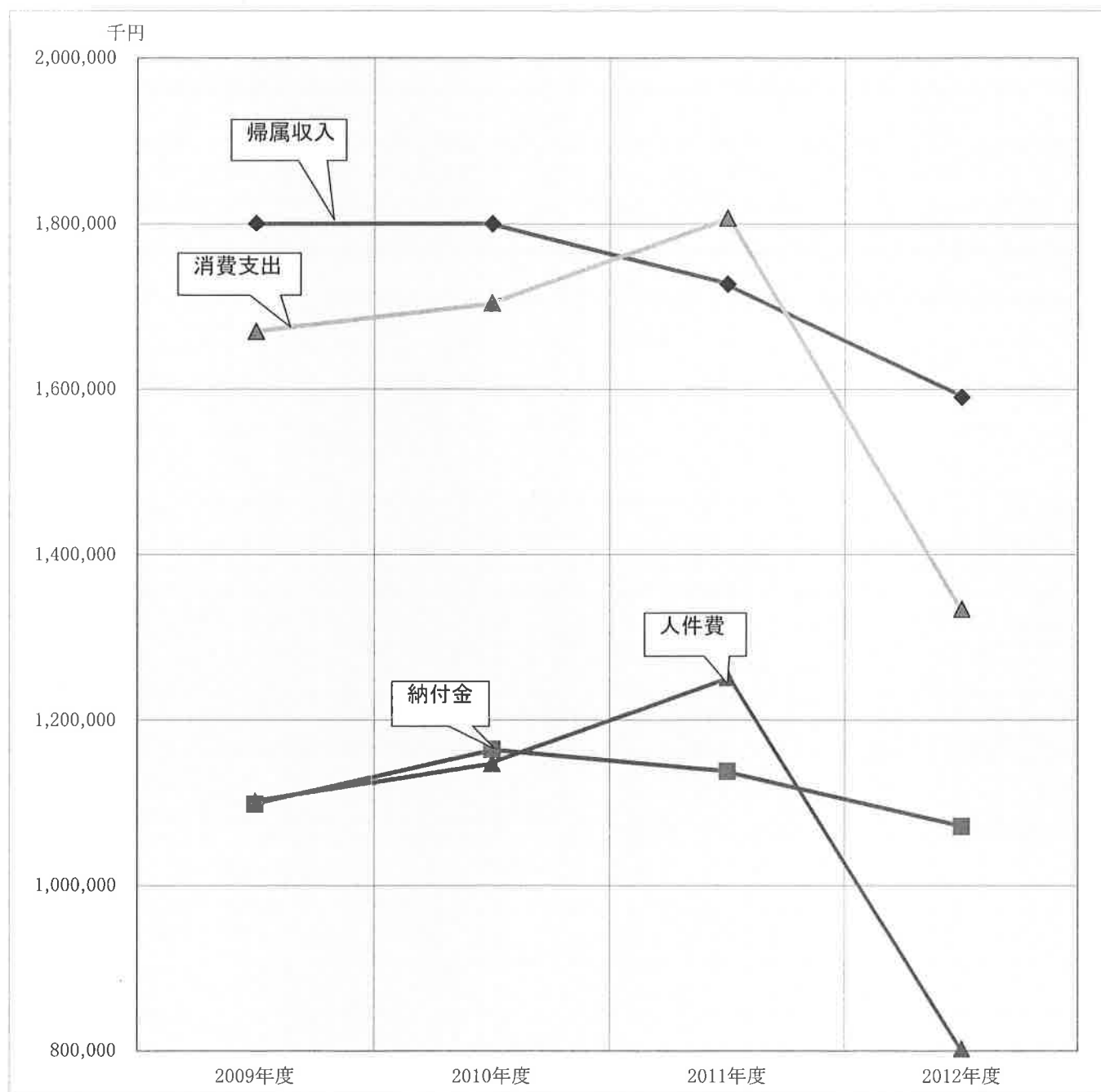
(2) 経年比較資料

① 学生・生徒・園児数の推移



	2010年度 平成22年度	2011年度 平成23年度	2012年度 平成24年度	2013年度 平成25年度
女子大学	490人	472人	441人	417人
趨勢率 (%)	100.0	96.3	90.0	85.1
短期大学	618人	600人	570人	566人
趨勢率 (%)	100.0	97.1	92.2	91.6
高等学校	172人	211人	251人	279人
趨勢率 (%)	100.0	122.7	145.9	162.2
中学校	92人	92人	83人	79人
趨勢率 (%)	100.0	100.0	90.2	85.9
幼稚園	145人	160人	168人	174人
趨勢率 (%)	100.0	110.3	115.9	120.0
合 計	1,517人	1,535人	1,513人	1,515人
趨勢率 (%)	100.0	101.2	99.7	99.9

②学園財務推移資料



科目	2009年度決算 平成21年度決算		2010年度決算 平成22年度決算		2011年度決算 平成23年度決算		2012年度決算 平成24年度決算	
	金額	趨勢率	金額	趨勢率	金額	趨勢率	金額	趨勢率
A. 帰属収入合計	1,800,492	100.00%	1,800,077	99.98%	1,727,034	95.92%	1,590,383	88.33%
内、学生生徒等納付金	1,097,781	100.00%	1,164,421	106.07%	1,137,837	103.65%	1,071,291	97.59%
B. 消費支出合計	1,669,838	100.00%	1,703,616	102.02%	1,807,025	108.22%	1,334,037	79.89%
内、人件費	1,101,766	100.00%	1,147,859	104.18%	1,251,505	113.59%	802,510	72.84%

帰属収支差額(A-B)	130,654	96,461	△ 79,991	256,346
-------------	---------	--------	----------	---------

生徒数	1,426	1,517	1,535	1,513
-----	-------	-------	-------	-------

監事監査報告書

平成25年5月29日

学校法人 松山東雲学園

理事会 御中

評議員会 御中

監事

鳥谷紀興



監事

永井 頼江



私ども監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人松山東雲学園寄附行為第8条第2項の規定に基づき、平成24年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の学校法人の業務、財産の状況及び計算書類等、すなわち事業報告書、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む）、消費収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）及び財産目録について監査を行いました。

その結果を以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法の概要

平成24年度に開催された理事会（20回開催）、評議員会（6回開催）に出席し、理事長から業務の執行の報告を聴取したほか、重要な決裁書類等を閲覧し、学校法人の運営全般及び財産の状況を調査しました。

また、えひめ監査法人の指定社員である丸木公介公認会計士からは平成25年5月21日に監査の報告及び説明を受け、計算書類等につき検討を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、事業報告書、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む）、消費収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）及び財産目録の記載と合致し、適法かつ正確に法人の収支状況及び財政状況を示していると認めます。
- (2) 学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する事実は認められません。

以上